

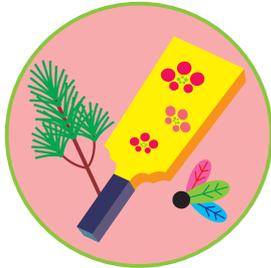
# 商工連ニュース

No.212  
H25.1月号

ホームページアドレス <http://www.chibaken.or.jp> メールアドレス [post@chibaken.or.jp](mailto:post@chibaken.or.jp)

CONTENTS

- ◆会長年頭あいさつ
- ◆知事年頭あいさつ
- ◆第52回商工会全国大会
- ◆文化の日千葉県功労者表彰（県知事表彰）
- ◆千葉のちから中小企業表彰
- ◆青年部サクセス交流会
- ◆第2回千葉県商工会女性部うまいもん市 開催決定！
- ◆地域力宣言2012ニッポン全国物産展開催！
- ◆青年海外協力隊 シニア海外ボランティア
- ◆経営改善シリーズ「5S」
- ◆平成25年4月1日から希望者全員の雇用確保を図るための高年齢者雇用安定法が施行されます！
- ◆今こそ宮城へ！来て！見て！感じて！応援して！



## 会長年頭あいさつ

### 組織力強化に向けて



千葉県商工会連合会  
会長 花島敬一郎

明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加、社会保障と税の一体改革、原発問題等、我々国民の覚悟が問われる内政や外交の問題が噴出し、さらに、不安定な政治体制が続くなど、「日本のかたち」が大きく変わる時代が始まったと感じられました。

我が国経済全般を見ると、昨年の前半から半ばにかけては、景気は持ち直した感がありましたが、後半からは世界景気に減速感が生じ、年の後半には、こうした世界景気の影響や長引くデフレを受け、国内景気が減速感を強めるなか、特に、地方の中小・小規模企業は、大手企業の工場閉鎖や生産拠点の海外移転等にもなる地方経済の疲弊や、本年三月に終了する中小企業金融円滑化法の影響による資金繰りの悪化懸念などにより、先の見えない、厳しい経営環境下におかれております。

県下商工会地区の中小企業の景況を見ても、前年同期に比べ売上高・採算・

資金繰り、すべての項目が改善されましたが、日本の景気の減速感が強まってきたと同時に、悪化傾向となり、すでに融資条件の変更を受け金融円滑化法を活用できない企業や、個人消費低迷の影響を受けやすい業態の倒産が目立ちはじめ、県内企業倒産件数（負債額一千万円以上）も高水準で推移するなど、経営環境は依然として厳しい状況にあり、県内企業の99パーセントを占める我々中小・小規模企業は、収益・採算の低迷、資金繰り逼迫など、もはや自主的な努力だけでは対応できない厳しい経営状況が続いております。

こうしたなか、県連合会は、昨年十二月森田健作千葉県知事に対して、東日本大震災、デフレ及び超円高等に対応した着実かつ機能的な景気対策の実施、中小企業金融円滑化法終了後の対応を含めた中小企業への金融支援の維持等、県内経済の持続的な発展を図っていくために、地域経済の担い手である中小企業の経営基盤強化に向けた支援の拡充強化、環境変化に対応した地域経済の活性化支援等を商工会議所連合会と中小企業団体中央会とともに強く要望いたしました。

一方で、我々商工会が、地域経済の活性化を担うにあたり、今後も中核的な機関としてリーダシップを発揮していくには、商工会の組織力の強化や小規模企業の期待に応える成果を上げていくことを、今こそ、強く決意する必要があります。

平成の大合併に伴う商工会合併等により、全国的に商工会員数の減少や組織率の低下が著しく、千葉県下においても、全国的な傾向と同様に会員数の減少・組織率の低下が生じております。

こうしたことから、現在、我々商工会は、商工会組織の強化、ひいては、会員事業者の発展と地域活性化を目的とした「商工会機能強化計画」を、県内40商工会全組織を挙げて一丸となって推進しております。

県連合会といたしましては、今後はさらに、商工会の組織力・機能が強化され、地域や小規模事業者の期待に応えることができるよう、各商工会への支援について全力で邁進する所存でございますので、皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

平成二十五年 元旦

## 謹賀新年

会長	花島敬一郎	四街道市
副会長	森和夫	柏市沼南
専務理事	島田守夫	県連合会
理事	富澤昇	野田市関宿
	寒郡茂樹	富里市
	石田信昭	白井市
	古山義久	陸沢町
	行木静	山武市
	鶴野航三	匝瑳市
	高岡正人	香取市
	藤野一夫	富津市
	出口幸弘	いすみ市
	鈴木勲	県青年部連合会
	秋山優子	県女性部連合会
事務局職員一同	渡邊薫	袖ヶ浦市

## 知事年頭あいさつ



千葉県知事  
**森田 健作**

明けましておめでとうございます。昨年は、ちばアクアラインマラソンを開催し、県内外から約一万四千人のランナーに参加いただき、千葉県の魅力とおもてなしの心を、全国に発信することができました。多くの皆様に御理解、御協力をいただき、改めて御礼申し上げます。

県ではこれまで、総合計画「輝け！ちば元氣プラン」にもとづき、「くらし満足度日本一」を目指して取り組んでまいりました。

今春には、首都圏中央連絡自動車道の東金・木更津間四十三キロメートルが開通します。アクアラインの料金引き下げ効果も生かしながら企業誘致施策と観光客誘致を展開するとともに、大栄・横芝間の用地取得に向けた取り組みを進め、圏央道の全線開通が図られるよう努めてまいります。また、今年開港三十五周年を迎える成田空港については、官民の連携による「(仮称)成田空港活用協議会」を設立し、観光や産業の振興などの取り組みを進めてまいります。

新エネルギーについては、エネルギー源の多様化だけでなく、温室効果ガスの削減や地域経済の活性化への寄与が期待されています。昨年は、県内でもメガソーラーが相次いで稼働したほか、我が国初の本格的な洋上風力発電設備も完成しました。今後も、引き続き導入促進を図ってまいります。

厳しい経済情勢の中、「中小企業の元氣が千葉県の元氣」を旗印として、地域を支える中小企業が円滑に経済活動を進めていけるよう積極的に支援します。厳しさが続く雇用情勢に対しても、国や市町村とも連携して失業者や若年者等に対する就業支援を行うなど効果的な対策を実施してまいります。

県民生活の安全・安心の確保も重要です。東日本大震災からの復旧・復興放射性物質の対処などに取り組むとともに、災害に強い千葉県づくりを進めます。また、振り込め詐欺やひったくり対策を進め、移動交番車や防犯カメラを増やすなど、安全安心日本一の千葉県を目指してまいります。

本年も、千葉県商工会連合会、各商工会並びに会員企業の皆様とともに、「千葉で生まれ、住み、働いて良かった」と誇りに思える、光り輝く千葉県づくりを目指して、全力で取り組んでまいります。

結びに、千葉県商工会連合会、各商工会、並びに会員企業の皆様のますますの御発展と会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

## 第五十二回商工会全国大会

去る十一月二十二日、東京・NHKホールにて全国の商工会関係者約三千名が参集し、「小規模企業が主役の日本へ」日本経済の真の復活を目指して」というスローガンのもと、商工会全国大会が開催された。

大会では、「大型の景気対策の実行、中小・小規模企業対策の強化」「東日本大震災被災地への支援及び原発事故の早期収拾」「中小・小規模企業のための金融・税制・労働対策等の実施」「地域コミュニティ維持活動等の推進・強化」「まちづくり」への支援」について強く要望し、満場一致で大会決議として決定された。

また、経営改善普及事業に関する功績による表彰が行われ、本県からは次の方々が中小企業庁長官表彰(敬称略)。

- 中小企業庁長官表彰(役員功労者) 一宮町商工会 理事 中村政和
- 優良青年部 匝瑳市商工会青年部 藤平光男
- 優良常勤職員) 千葉県商工会連合会

## 文化の日千葉県功労者表彰(県知事表彰)



去る十一月三日、千葉県庁で開催された「平成二十四年文化の日表彰式」において、袖ヶ浦市商工会会長渡邊薫氏が、永年にわたる地域商工業の振興発展に寄与した功績により、森田健作千葉県知事から商工功労者として顕彰されました。

## 千葉のちから中小企業表彰

去る十二月十日、千葉県庁において、平成二十四年度千葉のちから「中小企業表彰」の表彰式が行われました。

この表彰は、積極的な事業展開による地域経済活性化への貢献や地域社会の発展に貢献をされている中小企業、また中小企業にあつて地道に努力を続けて来られた従業員が表彰されるもので、県連合会が推薦した次の方々に対して森田健作県知事から表彰状が授与されました。(敬称略)

- 【中小企業表彰】合資会社寒菊銘醸 山武市商工会
- 株式会社さわらび 鴨川市商工会
- 株式会社大兼工務店 南房総市朝夷商工会
- 株式会社板倉 正直(菅原工芸硝子株式会社) 九十九里町商工会



# 青年部サクセス交流会

「平成二十四年度千葉県商工会青年部サクセス交流会」が平成二十四年十一月二十九日に開催され、県内各地から約九十名の青年部員が参加した。

この「サクセス交流会」は、例年千葉市内にて開催されていたが、本年度は震災復興支援として旭市での開催となった。



基調講演  
講師 杉山フルーツショップ代表 杉山清氏

はじめに行われた基調講演では、講師に杉山フルーツショップ代表・杉山清氏を迎え、「景気・不景気は

経営者次第一というテーマでの講演が行われた。その後行われたグループディスカ

ッションでは、基調講演の内容を参考に「自社の経営について」とい



グループディスカッション  
熱心にディスカッションする青年部員

うテーマで九班に分かれ、熱心なディスカッションが行われた後、各班からディスカッションの内容等についての発表が行われた。

終了後の情報交換会では、各商工会青年部による活動のPRや匠瑛市のご当地アイドル「S☆cute」によるパフォーマンス、旭市のミステラによる市のPRがされた。この「サクセス交流会」を通じて、青年部員の事業所の発展、青年部員同士の結束を確認することができ、さらなるサクセス（成功）に向けての充実した研修会となった。

## 第2回

# 千葉県商工会女性部 うまいもん市 開催決定！

日時 平成二十五年二月十一日（祝）九時から  
場所 国民宿舎サンライズ九十九里 多目的ホール  
内容 県内商工会女性部による地域の旨いもん（食品）や上手いもん（工芸品）の展示販売

入場無料、皆様ぜひご来場ください。



昨年の様子

## 地域力宣言2012

# ニッポン全国物産展開催！

平成二十四年十一月二十三日（金）二十五日（日）の三日間にわたり、池袋サンシャインシティにおいて、「ニッポン全国物産展」が開催されました。

多くのメディアが取材などに訪れたほか、十四万人を超える来場者で賑わいました。

この催しは、平成二十一年より全国の特産品販売や地域の観光PRを目的に行われており、今年も千葉県から出展した六社、一団体をはじめとして全国から約四〇〇の出展者が集結しました。開催期間中は

また、今年も物産展終了後も出展品を購入できるよう、インターネット上に「お取り寄せニッポン全国物産展」と銘打ったネット販売ページが開設されていますので、こちらも是非ご利用ください。（URL: <http://www.toriyose.shokai.or.jp/>）



なご、今年度における千葉県からの物産展出展者は以下の通りです。

- (株)秋葉牧場（成田市東）、(有)田舎家（成田市東）、(有)大橋商店（旭市）、(株)かわこえ（白子町）、(株)斎武商店（鴨川市）、(株)セガワ（匠瑛市）、そうさブランド研究委員会（匠瑛市）

## お知らせ

### 青年海外協力隊 シニア海外ボランティア

御社のグローバル人材育成に、JICA ボランティア制度を活用しませんか？  
ニーズに合わせ、派遣国や活動内容、派遣期間等をカスタマイズいたします。

■お問合せ■  
独立行政法人国際協力機構（JICA）  
青年海外協力隊事務局 参加促進・進路支援課  
TEL: 03-15226-0602  
E-MAIL: [itpc@jica.go.jp](mailto:itpc@jica.go.jp)



民間連携ボランティア制度の詳細はこちら  
<http://www.jica.go.jp/volunteer/levant/company/cooperation/>



単なる美化活動ではない5S!!

# 5Sで 職場が変わる 自分が変わる

**整理**

必要な物と不要な物を分け、  
不要な物を捨てる

**整頓**

置き場所、置き方を決め、  
表示を確実に行う

**清掃**

掃除をしてゴミ、  
汚れのない  
きれいな状態にする

**清潔**

整理・整頓・清掃を徹底し、  
きれいな状態を維持

**しつけ**

決められたことを、  
決められたとおりに  
実行する

5S活動は、どんな業種や業態でも導入できる意識改革の強力なツール！  
5S活動は、自分たちの会社のことを自分たちで考える！  
5S活動は、組織が変わり人材が育成され、利益管理の精度向上！



平成25年4月1日から

希望者全員の雇用確保を図るための高年齢者雇用安定法が施行されます！

急速な高齢化の進行に対応し、高年齢者が少なくとも年金受給開始年齢までは意欲と能力に応じて働き続けられる環境の整備を目的として、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」（高年齢者雇用安定法）の一部が改正され、平成25年4月1日から施行されます。今回の改正は、定年に達した人を引き続き雇用する「継続雇用制度」の対象者を労使協定で限定できる仕組みの廃止などを内容としています。

### 改正のポイント

- 1 継続雇用制度（再雇用等）の対象者を限定できる基準の廃止
- 2 継続雇用制度（再雇用等）の継続雇用先が、自社だけでなくグループ内の他の企業まで範囲が拡大
- 3 義務違反の企業に対する公表規定の導入
- 4 高年齢者雇用確保措置の実施および運用に関する指針の策定  
(原則、希望者全員65歳までの雇用の確保が必要ですが、継続雇用されない場合の内容を規定)

詳しくは、最寄りのハローワーク  
へお問い合わせください。

## お知らせ

今こそ 宮城へ！  
来て！見て！感じて！応援して！



松島

平成23年3月11日に発生した東日本大震災からの復旧・復興に向け歩んでいる宮城県沿岸部では、企業及び団体を対象とした受け入れプログラムを用意しています。単なる被災地の視察にとどまらず、震災の体験や教訓を後世に伝える語り部による被災体験談や被災地の視察ガイド

ド、復興市や復興商店街でのお買い物、ボランティア活動などのメニューがあり、震災の実情や復興を実感できるものとなっています。

学びの場、CSR活動の場、団体研修などで、被災地を訪れて、応援してみませんか。

宮城県では「みやぎ観光復興支援センター」を設置し、受け入れプログラムに関する情報を発信しています。

お問い合わせ  
みやぎ観光復興支援センター  
TEL. 022-748-7380 FAX. 022-748-7381  
E-MAIL: miyagikanko305@ray.ocn.ne.jp

